

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年10月2日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病		疫学週			
		36 週 8月31日 ~ 9月6日	37 週 9月7日 ~ 9月13日	38 週 9月14日 ~ 9月20日	39 週 9月21日 ~ 9月27日
急性呼吸器感染症(ARI)	急性呼吸器感染症(ARI)	452 90.40	445 89.00	548 109.60	499 99.80
	インフルエンザ *	27 5.40	19 3.80	29 5.80	36 7.20
	新型コロナウイルス感染症 *	27 5.40	14 2.80	6 1.20	10 2.00
	RSウイルス感染症 *	1 0.33	2 0.67	3 1.00	1 0.33
小児科定点	咽頭結膜熱 *				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	5 1.67	6 2.00	3 1.00	4 1.33
	感染性胃腸炎	2 0.67		3 1.00	1 0.33
	水痘			3 1.00	
	手足口病	19 6.33	12 4.00	13 4.33	9 3.00
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	1 0.33	2 0.67	1 0.33	
	ヘルパンギーナ *	14 4.67	5 1.67	6 2.00	4 1.33
	流行性耳下腺炎				
	急性出血性結膜炎				
眼科定点	流行性角結膜炎	2 2.00	3 3.00	5 5.00	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
基幹定点	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00		2 2.00	
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2		3	
	川崎病		1		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

・なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数が増加しています。県内ではインフルエンザによる入院報告例もあり、引き続き注意が必要です。
- 最近1日の寒暖差が大きく、体調管理が難しくなっています。人混みの多い場面では咳エチケットを徹底し、手洗い等の基本的な感染対策を行いましょ。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生はありません。

【医療機関の皆様へ】

- 感染症法に基づき、全数報告対象の感染症を診断した場合は、最寄り保健所への医師の届出が必要です。
- オンラインでも届け出が可能です。アカウントの発行、システムへのログインはこちらからです。

アカウント発行



システムログイン



- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



手洗いチェツ



申込はこちら

【感染症コラム～疥癬～】

- ヒゼンダニを病原体とする感染症で、通常疥癬と角化型疥癬(重症型)があります。
- 主な感染経路は、患者の皮膚との接触で、角化型疥癬では患者が使用した寝具や衣類を介して感染することもあります。
- 4～6週間の潜伏を経て、通常疥癬では、夜間に悪化する激しい痒みや、指の間、手首の内側、手のひら、足の裏などに疥癬トンネルと呼ばれる特徴的な皮疹が見られます。角化型疥癬では、灰白色の角質が増加し、痂皮に覆われた状態となり、痒みを感じないこともあります。
- 皮膚科の検査(皮疹部からの虫体や卵等の検出)により確定診断がされ、駆虫薬の内服や外用薬による治療が行われます。場合によっては予防的治療の対象になることもあります。
- 予防の基本は、個人防護具の使用(接触感染対策)です。施設における感染拡大予防は、患者の早期発見が重要です。患者が見つかった場合、無症状者を含む接触者への検査が必要になる可能性があるため、医療機関へご相談ください。

大崎保健所栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 📠0228-22-7594